

愛知県ハンガリー友好協会会報

2018年夏号

《ハンガリーフェスティバル in 愛知》

“日本とハンガリー、交流する文化、食・俳句・音楽”

早稲田みか（大阪大学教授）

2018年6月3日（日）、午後13:30-16:30、パラノビチ・ノルバート駐日ハンガリー特命全権大使、ヴィハル・ユディットハンガリー日本友好協会会長をお迎えして、愛知県名古屋市の名古屋国際センターホールにおいて、恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」が「日本とハンガリー、交流する文化、食・俳句・音楽」と題して開催されました。

愛知県ハンガリー友好協会理事の寺西むつみ愛知県議会議員



寺西むつみ先生



パラノビチ大使

名古屋通の大使らしく、日本初のハンガリーの揚げパン、ハンガリー風ピザ「ラーンゴシュ」の店が名古屋にあることなども紹介されました。「フォークシーダイナー」という名古屋ドーム横にある元中日ドラゴンズの藤井選手プロデュースのお店だそうです。



による開会のあいさつのあと、来賓が紹介されました。今年は、愛知県知事代理政策企画局国際課長河村正人様、名古屋国際センター理事長矢野秀則様にお越し頂きました。また、愛知県知事大村秀章様、当協会会長藤川政人参議院議員、および小牧市長様より届いた祝電が披露されました。

第一部はパラノビチ大使とヴィハル・ユディットさんの講演。パラノビチ大使は「日本ーハンガリー食文化交流」と題し、日本の食料自給率が38%であるのにたいし、ハンガリーのそれは150%とたいへん高いこと、ハンガリーの国土は日本の4分の1しかないにもかかわらず、耕地面積は日本よりも広いことなど、さまざまなデータを示して、ハンガリーがいかに農業大国であるかということをお話しされました。

また、いかにも





司会の早稲田先生とヴィハル先生

ヴィハル・ユディットさんは「ハンガリーの俳句」と題し、ハンガリーの俳句を披露しながら、ハンガリーの俳句は音節で五七五と数えること、タイトルをつけることがあること、日本の俳句は自然をうたったものが多いのにたいして、ハンガリーの俳句は歴史的な出来事や社会的問題などをうたったものもあること、ハンガリーの俳句は読み手が前面に出てくる主観的な句が多いことなど、日本の俳句とのちがいを紹介してくれました。日本発祥の俳句が世界の文学ジャンルとしてハンガリーにも広まっていることがよくわかりました。

第二部は「ハンガリアンジプシー音楽の愉しみ」と題したコンサート。ジプシーヴァイオリンの古館由佳子さんとアコーディオンの平賀康子さんからなる「古館由佳子とジプシーバンド」のおふたりによる演奏を楽しみました。ヨハン・シュトラウス二世の「美しき蒼きドナウ」



古館さんと平賀さん



やブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」、モンティの「チャルダシュ」など、おなじみの曲が演奏されました。古館由佳子さん

の楽しいお話、おふたりの即興的で息のあった演奏、緩急のある超絶技巧のすばらしさに会場は大盛り上がり、拍手が鳴り止みませんでした。



酒井庸行先生

演奏のあと、当協会副会長の酒井庸行参議院議員より、あいさつがありました。

その後、ハンガリーに送る絵を描いてくれた小中学生の子どもたちの表彰式が行われました。当友好協会では毎年、ハンガリーの子どもたちと絵の交換を行っています。今年は犬山市の子どもたち

のほかに名古屋市などの小中学生も参加しました。ハンガリー側は今年はペーチから東に20キロほどの町ヒーメシュハーザにあるヒーメシュハージ小学校の子どもたちが、イースターエッグやウサギ、水かけの習慣行事など、イースターにまつわる絵を描いてくれました。ヴィハル・ユディットさんとパラノビチ大使から表彰状と記念品が贈られ、子どもたちは大感激していました。



子どもたちの絵の下には、ハンガリー刺繍サークルの作品がところ狭しと並べられました。



交流会ではサラミのオープンサンドイッチ、ハンガリーのお菓子、ワインなどがふるまわれました。入場者は250人ちかくあり、おおいに盛りあがりました。ご参加いただいた皆様、ご協力、お手伝いいただいた皆様、まことにありがとうございました。



中日新聞にフェスティバルの予告記事が載りました。新聞記事を見て参加して下さった方も何人かあり、また、会員になって下さった方もありました。

近郊版(春日井・小牧・犬山)
2018.5.31

名古屋市民版他 2018.5.26

講演に続き、ハンガリーのジプシー音楽演奏、サラミやワイン、お菓子を楽しめる交流会がある。会場には現地の小学生がイラスト

ハンガリー文化フェスで触れて3日、名古屋

県ハンガリー友好協会(事務局・小牧市)による「ハンガリーフェスティバルin愛知」が六月三日午後一時半、四時半、名古屋市中村区の名古屋国際センターホールで開かれる。駐日ハンガリー特命全權大使のバラノビチ・ノルバトさんが日本とハンガリーの食文化交流を紹介。ハンガリー日本友好協会のピタル・ユティット会長がハンガリーの俳句について講演する。

講演に続き、ハンガリーのジプシー音楽演奏、サラミやワイン、お菓子を楽しめる交流会がある。会場には現地の小学生がイラスト

県ハンガリー友好協会(事務局・小牧市)の主催。駐日ハンガリー特命全權大使のバラノビチ・ノルバトさんが両国の食文化交流を紹介。ハンガリー日本友好協会のピタル・ユティット会長がハンガリーの俳句について講演する。

講演後、ハンガリーのジプシー音楽演奏と、サラミやワイン、お菓子を楽しめる交流会がある。会場には現地の小学生がイラスト(復活祭)をテーマに描いた絵を飾る。

県ハンガリー友好協会の志村美佐子事務局長(左)は「日本との意外な共通点もあります」と来場を呼び掛ける。参加費千五百円、協会員は千円。中学生以下は無料。◎志村さん 0568(76)4347

ハンガリーフェスティバルをPRする志村さん(小牧市)



「復活祭」をテーマに描いた絵を飾る。

県ハンガリー友好協会の志村美佐子事務局長(左)は「ハンガリーとの意外な共通点もあります」と来場を呼び掛ける。参加費千五百円、協会員は千円。中学生以下は無料。◎志村さん 0568(76)4347

《 2018 年度通常総会 》

2018 年度通常総会は下記のように予定しています。9 月に改めてご案内いたしますので、是非ご参加ください。

日時：10 月 29 日(月)18：30～

会場：名鉄グランドホテル

内容：・2018 年度通常総会

・講演：ハンガリー大使又は大使館職員(依頼中)

・演奏：橋本専史 (チェリスト)

エトヴェシュ・ペーテル作曲「ポリーのための2つの詩」

→更級日記から引用した詩をハンガリー語の語りとチェロ演奏
(橋本さんおひとりで語りと演奏)

コダーイ・ゾルターン作曲「無伴奏チェロソナタ第1楽章」

・懇親パーティ



橋本専史プロフィール

愛知県豊田市出身。普通高校を経て東京芸術大学音楽学部器楽科に入学。2014年リスト音楽院修士課程修了。ハンガリーデヴレツェンドホナーニコンクール入賞,イタリア Concorso Luigi Zanuccoli 第三位。ハンガリー国内ではコンチェルトブダペストはじめ多くのオーケストラでエキストラを勤める一方、ハンガリー国立歌劇場オーケストラに2017年9月まで在籍して現在に至る。平成30年度豊田市振興文化財団より芸術部門新人賞を受賞。

● ピアノトリオの夕べ～ハンガリーからチェリストを迎えて～



日時：2018年7月31日(火) 18：45 開演 18：15 開場

場所：名古屋市守山文化小劇場

曲目：ショパン：幻想即興曲

エルガー：愛の挨拶

シューマン：アダージョとアレグロ

メンデルスゾーン：ピアノトリオ第1番第1楽章

ハイドン：ピアノトリオ“ジプシー” ほか

演奏：オンツァイ・ゾルタン(チェロ) 北山まり子(ヴァイオリン) 原田綾子(ピアノ)

入場料：全自由席 一般 2000 円(ペア 3000 円) 学生 1000 円 3 歳以下無料

後援：愛知県ハンガリー友好協会

オンツァイ・ゾルタンさんは、チェリスト オンツァイ・チャバ先生のご子息です。北山まり子さんと原田綾子さんはリスト音楽院に留学していたときゾルタンさんと知り合いトリオを結成しました。息の合った演奏をお楽しみください。

- 国際交流コンサート [ハンガリーを楽しむ集い]
尾張旭国際交流会主催のイベントです。当協会会員の皆様が出演します。

国際交流コンサート [ハンガリー を楽しむ 集い]

音楽と踊りでハンガリーを満喫しましょう！！



チョルダシュ・ジュラ
アコーディオン



橋本 専史
チェロ



久野 絵美
ピアノ



ラーザール・アティッラ
大塚 奈美

音楽 : ハンガリー舞曲第五番 (ブラームス) 愛の夢 (リスト) トランシルヴァニアのタベ (バルトーク) ハンガリー民謡、他 (都合により変更する場合があります)	舞踊 : カロタセグ地方の踊り メゼーシェーグ地方の踊り セーク村の踊り トランシルヴァニアの舞踊体験
---	--



日時 : 平成30年11月11日(日) 14:00~16:00 (受付 13:30より)

場所 : 尾張旭市渋川福祉センター (尾張旭市渋川町3-5-7 電話 54-5300)

参加費 : 1,000円 [お菓子、飲物つき] (当日受付にてお支払いください)

申込先 : 尾張旭国際交流会 櫻井 (さくらい)、11月4日(日)まで。

[電話 0561-53-2283] または [Eメール s.sakurai@theia.ocn.ne.jp] で!



この事業はあさひ健康マイスターのポイント対象です。
主催 : 尾張旭国際交流会、尾張旭市健康都市推進室

● 広報こまき 2018.6.15

小牧市広報課からの依頼で、早稲田みか著：図説「ブダペスト都市物語」を紹介しました。写真もいっぱいとてもわかり易い本です。

ブックレビューボタン vol.30 ~私のおすすめの本を紹介~



図書館 (☎ 73 - 9951)
図書館映画デー

とき：7月1日(日)午後2時～
ところ：図書館1階視聴覚室
内容：「三人の騎士」(70分)
対象：どなたでも
定員：50人(当日先着順)
料金：無料

大人も楽しむ絵本の会

とき：7月21日(土)午前10時
30分から11時30分まで
ところ：東部市民センター(2階)視聴覚室
内容：大人にも絵本の楽しさを知ってもらうためのイベントです。
対象：小学生以上
定員：30人(当日先着順)
料金：無料



▲ブダペストの夜景(セーチャーニ銅橋)

「ドナウの真珠」と呼ばれるハンガリーの首都・ブダペスト。この街は、1987年に世界文化遺産に登録されました。

かつてオーストリア・ハンガリーの二重帝国時代、ウィーンと同等の地位を獲得していたこの街は、複雑な歴史と美しい景観を持つ魅力ある都市です。

この本には、そんなブダペストがどのようにして発展してきたかを、近世以降に焦点を当て

今回のレビューー



▲愛知県ハンガリー友好協会事務局長の志村 美佐子さん(写真一番左)
写真は、ハンガリー大使と共に大村知事を表敬訪問したときのもの。
右から2人目は著者の早稲田みかさん。



「ブダペストの魅力に迫る」
スリリングな歴史紀行

著者である早稲田みかさんのおじい様は、小牧市丹津の出身。私の近所の方です。不思議なご縁があつて、現在、愛知県ハンガリー友好協会でハンガリーの文化を紹介する活動を一緒にしています。

て記述されており、「ハンガリー動乱」などの歴史的な事件を写した写真や建築細部の写真など、街の細かい点を知るのに役立つ資料なども多く記されています。



2018
6.15 広報こまき

● パプリカと花

ハンガリーの種で、酷暑にも負けず育っています。



<事務局より>

今後の行事予定は、10月29日(月)「2018年度通常総会」、12月16日(日)「ハンガリー料理でクリスマス会」です。改めてご案内いたしますので是非ご参加ください。なお、会報秋号より早稲田みか先生に編集をお願いすることになりました。猛暑はまだまだ続きそうです。皆様どうぞご自愛ください。